

1. 評価結果概要表

平成20年 12月 2日

【評価実施概要】

事業所番号	2071500488
法人名	社会福祉法人平成会
事業所名	グループホーム さとび
所在地	長野県塩尻市大字片丘道下11146番地 (電話) 0263-51-6310

評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成20年11月27日	評価確定日	平成21年1月16日

【情報提供票より】(20年 10月 31日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 5月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18人
職員数	14人 常勤14人 非常勤0人 常勤換算14人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	54,000円	その他の経費(月額)	17,300円
敷金	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有	有	有りの場合償却の有無 無
食材料費	朝食	390円	昼食 390円
	夕食	390円	おやつ 円
	または1日当たり		1,170円

(4) 利用者の概要 (10月 31日 現在)

利用者人数	17名	男性 1名	女性 16名
要介護1	2名	要介護2	6名
要介護3	6名	要介護4	3名
要介護5		要支援2	
年齢	平均 86.9歳	最低 78歳	最高 94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	桔梗ヶ原病院 ごうや歯科 桔梗在宅往診クリニック
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は中央道塩尻インターより車で5分位の市郊外・田畑の広がる穏やかな環境の中に位置し、同法人の通所介護「無暦日庵」に隣接している。ホームは芝生の中庭を挟み2ユニット(東雲棟・茜棟)を配置し、屋内は天井が高く庭に面した側は総ガラスになっており、採光・陽当たり・眺めもよく、広々とした明るいホールになっている。母体である法人は医療や福祉事業者として様々な実績を有し、特に入居者の健康管理に於いては迅速な医療との連携が確保されており、入居者・ご家族の日々の安心への支援に繋げている。また食事については“食事の豊かさ”の視点を掲げ、チーム全体で共有し実践している。この豊かさへの配慮は入居者・職員の喜び・楽しみでもあり、豊かな日常生活への支援となっている。さらに職員の資質向上を図るために職員教育や研修に努められ、特に同法人内グループホーム事業所との交流・研修は定期的に組まれている。職員の接遇も良く、入居者やご家族の安心や信頼を得ている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価結果をチーム全体で踏まえて、理念や目標の見直しや確認を行ない、より良いケアに向けて取り組まれている。外部評価の改善課題として挙げられていた、地域との付き合い、については、事業所の立地状況や地域性等の課題を踏まえながら、少しずつ改善へ向けて努力している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>ミーティング時に、評価項目を少しずつ分けて全員で取り組み、今回も多くの新たな気づきを得ている。同時に評価の意義も職員一人ひとりが実感され、チーム全体で共有し、さらにより良いケアに向けて取り組みが行なわれている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は、ご家族、地域の代表者、民生委員、地域包括支援センター職員等の方々に出席して頂き、概ね2ヶ月に1回開催されている。会の意義や目的を説明し、外部評価結果の報告やグループホームの状況等を伝え、今後の会のあり方や方向性について意見・助言を頂いている。その中で、ホームが持つ様々な機能を活用して、ホームが地域の要望に応えていけることは何かについて提議し意見を頂いている。さらに地域の代表者等を通して、地域とのより良い関わりが持てるよう、継続的な取り組みを行なっている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>母体の法人が1年に1回家族へのアンケート調査を行なっている。また今年度は家族会を施設外(ふどう園)で行なった。開放的な雰囲気の中で、気楽に意見を述べあって頂けたらとのホームの意向である。公的な相談・苦情の窓口なども示し、ご家族や入居者が苦情や意見を表せる事を伝えている。またホームの方針として、「ご家族様」との関係を大切に捉えており、ホームを訪れた際にはお話を聞き、ご家族の意向を介護計画書に取り込み、日々の支援に反映している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>散歩に出かけてホーム周辺の田畑で草刈や農作業を行なっている地域の方々に出会った時など、自然な形で挨拶を交わしたり、時にはお茶を飲んでいただいたり、採れた野菜を頂いたりして、地域の方々のお付き合いを大切にしている。開所後4年目となり、日々のささやかな交流を積み重ねてきた。今後も、出来るだけ無理のない形で、地域とのより良い結びつきを得るために、どうして行けばよいか、模索しつつ取り組んでいる。</p>

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	今年度、法人として、理念の見直しに取り組み、「共に歩む」入居者・ご家族・職員・地域の方々と共に歩むを掲げ、さらに法人コンセプトを具体的に掲げている。ホームとしては法人理念を共有しつつ、そこから「さとび」独自の施設目標を理念として掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	今年9月に見直した、新たな法人の理念やコンセプトについて周知をはかると共に、ホーム独自の理念についても施設内に掲示すると共に、ミーティング時に、新たな姿勢・意識を持って話し合い、チーム全体で理念を共有し、日々の支援に取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会に加入し区費を納めている。地域の新そばまつりや敬老会のお知らせをいただくが、入居者の安心や穏やかな日常生活を考慮しつつ、参加には至っていない。春祭りには隣接のディサービスを含め、地域のお神輿が繰り込んで入居者を楽しませている。日常の何気ない挨拶や立ち話などを通して近隣の方々との交流に努めている。		ホームの催し物に地域の方々にも参加していただいたり、地域で必要とされる活動や役割を受け入れて果たしていきたい等の姿勢を伺った。今後はその実現に向けて、地域の一員・地域のホームとして地域活動や地域の様々な人々との交流に積極的に取り組んでいくことを期待したい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者・職員は評価の意義を理解し、チーム全員で評価を行なった。毎日のミーティング時に、項目を少しづつ分けて進め、ユニット毎やホーム全体・職員一人ひとりの課題など、多くの気づきが得られ、話し合いを持ちながら改善へ向けている。		

グループホームさとび

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議のメンバー入れ替わり等により、この会議の意義やホームの理解をいただく為の説明・報告の繰り返しに留まりがちであった。今年度は、ホームの課題についての話し合いや、活動の様子・評価の取り組みについての報告や話し合いが行なわれている。出席者から率直な意見を頂きながら、少しずつサービス向上に繋がるよう取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の介護相談員の方々の訪問を通して、市との連携を行なっている。また市の担当者会議などに出席している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>全体の報告として「さとび便り」を定期的に発行し、ホームでの日常の様子(カラー写真付き)・職員の異動や諸所のお知らせ等を行なっている。個別の報告は、ご家族の面会時に日常生活の様子をお伝えし、お小遣い収支の確認をしていただいている。健康状態については主治医を中心に管理し、状態に合わせて電話連絡や報告を行なっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居時にホームや公的機関の相談窓口・市の介護相談員の活用の説明や、ホーム入り口に意見箱を置いている。法人として毎年アンケート(無記名可)を行っている。家族会を屋外で行い、自然の中で交流しながら、ご家族の意見を出し易くする工夫をしている。面会時にはご家族の意見・意向を伺い、介護計画書に取り入れ支援に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ユニット毎に職員体制を整え馴染みの職員による支援を大切にし、法人内の管理者の異動も最小減に留めている。止むを得ない離職や異動があった時は“さとび便り”で報告をし、新人職員をいきなりシフトに組み込まず、入居者への影響に配慮している。新人職員の名前が分からないとの意見がご家族から寄せられ、対策を練っていると意を管理者より伺った。</p>		

グループホームさとしび

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内の研修や外部研修についてもシフトの調整を行ない研修の機会を確保している。出席した管理者・職員は必ずチーム全員に資料の回覧・報告を行い情報を共有している。また認知症ケアの研修のみならず、専門職としてのマナー・接遇などについても大切にしており、委員会を中心に職員の育成に取り組んでいる。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に加入し、同業者と情報・意見交換を行なっている。また同法人内に8ヶ所のグループホームがあり、会場を持ち回りで定期的に研修を行ない、それぞれのグループホームが学びあい日々のケアサービスの向上に取り組んでいる。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居の前にホームの見学をしていただいたり(以前には体験宿泊もあり)、既に利用している施設に向いて行って、本人の状況把握や施設との連携など、一人ずつの状況に合わせて対応している。また、ご家族・ご本人から生活暦や希望などについて十分話をお聞きし利用開始へ繋げている。また既入居者との関係についても不安なく馴染めるよう配慮している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>家にいるように毎日の生活をゆったりと過ごしていただくようにしている旨を管理者より伺った。入居者から昔の苦労話等をお聞きしたり、諺や花の飾り方を教えてもらった、と職員の話があった。2ユニットに男性は一人、女性が多いことから、家事については洗濯物たたみや掃除(モップかけ等)を共に行っている。</p>		

グループホームさとし

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時の情報収集と入居後の思いや、意向の把握については、日々の寄り添いの関わりの中で、気づいたことや変化をカンファレンスの際に話し合い、チーム全体で気づきの共有・意向の把握に努めている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画作成担当者が作成した計画書を基にカンファレンスを行い、チーム全員で意見を出し合い、管理者が最終作成を行なっている。ご家族・本人の意向や目標が計画書に分かりやすく記されていて、その計画書に副って支援が行なわれている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月毎の定期的な評価・見直しと、状況に変化があった場合は、その都度見直しを行なっている。状況によっては昼休み等にミニカンファレンスを行ない現状に即し、また主治医や看護師・その他必要な関係者と話し合い、意見や指示を頂いている。ご家族の面会時に計画の説明をし、新たな意向が出された時は、その意向を取り入れた計画を作成している。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>1週間に1回協力医の往診があり、入居者の健康管理への支援を行なっている。状況に応じて受診の付き添いを行なっている。隣接のデイサービスの行事への参加や2ユニット間の交流などを行っている。</p>		

グループホームさとび

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居者やご家族の意向を踏まえ、法人の協力医が、かかりつけ医となっている。入居者の主治医として、普段の入居者一人ひとりの医療面・健康面の管理をして頂いている。職員は日常的に医師や看護師と連携し、適切な支援へと繋いでいる。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居者の高齢化に伴い、法人やホームの方針として、看取りへの支援も前向きに捉えており、日頃から職員研修や話し合いを行ない方針を共有している。早くから入居者・ご家族の意向を把握し、さらに状態に応じて家族の気持ちの変化を汲みながら、医療関係者とも繰り返し話し合いを持ち、判断をしていきたいとの意向である。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は、入居者は「ご利用者様」として接し、法人全体のコンセプトとして、笑顔を大切に・心を温める一言・心地よい環境等を掲げている。職員は、その方針を共有し実践している。「接遇委員」を設け、誇りやプライバシーの確保の徹底を図っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な1日の流れはあるが、職員は一人ひとりのペースを把握し、無理のない日常生活への支援を心がけている。入居者同士の自然な関わりも生まれ、訪問した日は入居者のみで、歌集を見ながら歌をうたう場面が見られた。</p>		

グループホームさとし

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	生活の中で、食事は豊かで楽しみなものとして、大切な支援としている。食器や盛付けにも心を込め工夫している。訪問した日は、柿の葉の上に干し柿(入居者と一緒に皮をむき吊るした)を乗せ、季節感いっぱいのおやつを美味しく頂いた。またお月見・七草粥等の食文化も楽しみとしている。冬季になって入居者に手荒れなどがあり、準備や後片付けは、現在はひかえている旨を伺った。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午前と午後に入浴の体制を整えている。その中で一人ひとりの体調を把握し、希望やタイミングに副って無理のない入浴の支援を行なっている。昼間の時間帯にゆっくりと入浴していただくことが、入居者の気持ち良さや安心になっているとの旨を伺った。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホームの畑で収穫した南瓜を使って南瓜団子をつくったり、干し柿作り等、入居者の経験を発揮していただく活動を行ったり、洗濯物たたみや収納・お掃除・歌など一人ひとりの力を活かした支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご家族の協力をいただいて、家の様子を見に行ったり、外食や外泊など、希望に副った支援をしている。また体調や天候を考慮し、近隣の散歩・ホームの中庭で草取りやお茶タイムなど楽しんでいる。時には隣接のデイサービスの催しに参加することもある。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームの西側が石垣になっている為、安全の確保のための対応策として、玄関はストッパーをしている。ご家族へは説明・了解をいただいている。居室は自由に入出入りしている。また契約書に、いかなる不利益を受けることがないものとする、と入居者の権利が明記されている。		

グループホームさとし

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月1回のミニ訓練、年1回は隣接のデイサービスと合同で消防署立ち会いの非難訓練を行なっている。夜勤一人の時間を想定し、適切な通報や連絡・非難が出来るよう訓練を行なっている旨を職員からお聞きした。敷地内には「防災倉庫」が設置され必要な物品の備蓄も整備されている。地域の方の協力体制作りに向けて取り組んでいる。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は入居者の嗜好・食量などを把握し、栄養バランスに配慮し、ユニット毎に献立をたてている。毎回必ず写真を撮り記録をしている。脱水が気になる入居者には、1日を通して適量を飲水していただけるよう配慮している。法人の“部門長”が専門的な観点からチェックし、より適正な支援を行なう方針を管理者から伺った。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用のホールは総ガラスで日当たり良く、ロールカーテンにより採光調節をしている。天井が高いので、とても広々としている。座り心地良いソファやテーブルが置かれ、季節感のあるタペストリーが掛けてあり、思いおもいに過ごせる居心地良い空間となっている。また玄関やホールのあちこちに花や観葉植物が置かれている。2ユニットに挟まれた芝生の中庭には、干し柿が吊るされているのが屋内から見え、生活感や楽しみが感じられた。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室の入り口には、ホーム独自の名前が付いており、入居者の表札が掛けられている。居室には使い慣れたベッド・筆筒やテレビが置かれ、仏壇にお花が飾られていたり、写真等が置いてあり、思い思いの安心の場となっている。季節ごとの衣類の入れ替え時はご家族と相談しながら入居者と一緒に行い、その方に副った必要な支援をしている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。